

一般質問(要旨)

マスメディアへの露出拡大の取り組みは積極的・効果的に活用し情報を全国発信

萩原勇議員(自民) 元気な活力ある本県の姿をマスメディアに露出すること、本県の安全性のPRにも一役買える。マスメディアへの露出拡大にどう取り組むのか。理事兼政策審議監 テレ

議員 平成三十一年茨城国民体育大会で優勝を目指すため、十二分に力を発揮できる選手育成とともにトレーナーの効果的な活用も必要であるが、今後どう進めるのか。教育長 二十四年度に設置する国体開催の準備委員会に専門委員会を設け、競技力向上の具体策検討の中で県体育協会や各競技団体の意見を聞きつつ、トレーナーの活用方策も検討していく。



マスメディアへの露出拡大を(テレビ朝日毎週金曜日 10:50~)

(ほかに、公共交通機関の利便性向上、将来を担う子どもたちへの支援の拡充、県道美浦栄線バイパスの北伸なども質問)

近隣市町村の原発事故対応は避難計画など広域的な対策が必要

先崎光議員(自民) 東海第二発電所の再稼働が問われる中、国の原子力防災指針見直しに合わせ、立地市町村に加え近隣市町村もこれまでの対応では不十分と考えるが、県や市町村の対応は。知事 国が示したUPZ

応策を講じる必要がある。議員 風評被害に苦しむ中、国の原子力災害周辺地域産業復興企業立地補助金や、現在申請中の茨城産業再生特区制度を、どう活用し、企業誘致上位県の復活を図るのか。理事兼政策審議監 本補助金は土地のほか、建物や設備も対象とし、最大25%補助と大変優位。地域によっては特区制度による税の特例の併用など割安感を一層伝え、一件



原子力防災訓練における市町村とのTV会議

でも多く立地につなげる。(ほかに、教科書の選定採択のあり方、茨城農業の担い手育成なども質問)

若草大橋へのアクセス道の整備は美浦栄線バイパスなどを整備

川口政弥議員(自県ク) 若草大橋は、利根町と千葉県栄町をつなぐ利根川に架かる道路橋である。有効活用するためにはアクセス道路の整備が不可欠であるが、利根町側と千葉県側についてアクセス道路の整備状況は。土木部長 利根町側の美浦栄線バイパスでは用地取得がほぼ完了し全区間で地盤改良工事を実施しているほか、二十四年度は新利根川の橋りょう工事に着手する。千葉県側では、概略ルート案の策定が進められている。議員 街全体を会場とした合同コンパ「街コン」は、駅前や中心商店街に若者を呼び戻し、街の再



アクセス道路の整備が進む若草大橋

生につながる。県はどう支援していくのか。商工労働部長 街コンの開催とあわせて、商店街が一丸となつて行う特色ある取り組みに対し助成するほか、必要に応じて街コンの企画・運営に対し、応援チームの派遣などを行っていく。(ほかに、少子化対策、農業の担い手確保、相野谷川の整備なども質問)

つくば国際戦略総合特区への取り組みは産学官の連携体制を構築し推進を図る

飯岡英之議員(自民) 総合特区制度は、我が国産業の国際競争力の強化が大きな目的の一つと理解しているが、今後、具体的にどのような取り組みを進めていくのか。企画部長 次世代がん治療、生活支援ロボット、藻類バイオマス、世界的ナノテク拠点の四つの先導的プロジェクトの推進と、産学官の連携体制を構築し、つくば国際戦略総合特区の推進を図る。議員 豊かな自然・史跡、最先端の研究施設群など、つくば市が有する地域資源を活用した教育旅行の誘致など、つくば地域を中心とした観光振興をどう進めるのか。



生活支援ロボット例(サイバーデザイン社 HAL)

東日本大震災復興・元気ないばらきづくり調査特別委員会 企業誘致、中小企業の成長分野への進出支援について活発に議論

本委員会(西條昌良委員長)では、これまで九回の委員会を開催し、震災からの復興と元気ないばらきづくりのための諸方策について調査、検討を進めています。三月十五日の委員会では、最近の工場立地の動向や震災後の社会経済情勢などを踏まえた企業誘致の取組に加え、新たな企業立地補助金や茨城産業再生特

区計画の効果的な活用方向などについて調査したほか、国の新成長戦略などを踏まえ、今後需要の拡大が見込まれる成長分野(次世代自動車、環境・新エネルギー、健康・医療機器、食品)への中小企業の進出支援の取組と大手企業との交流促進など今後の方向について調査を行いました。



阿見東部工業団地に立地する雪印メグミルク新工場の完成イメージ